

研究授業略案 3年 教科名 国語科
日時 令和7年10月14日(火) 5校時
令和7年10月23日(木) 5校時
場所 3年1組教室
指導者 伊藤 大輔

1 単元名・題材名

6 伝統文化を受け継ぐ(万葉・古今・新古今、おくのほそ道、論語)

2 単元の目標

(1) 知識・技能

① 和歌や漢文に使われている技法や作品が描かれた歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむことができる。

(2) 思考力・判断力・表現力

① 和歌の技法や文章と俳句の関連性などの表現の仕方の効果について考えをまとめることができる。

② 表現の仕方を考えたり古典の言葉を引用したりすることで、考えを分かりやすく伝えることができる。

③ 古典作品を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会などについて考えを持つことができる。(思考力・判断力・表現力)

(3) 主体的に学習に取り組む態度

① 進んで和歌や古文、漢文を読み、その世界に親しみ、学習課題に沿って、意味や技法を確認しながら考えをまとめようとしている。

3 単元の指導の着眼

(1) 【視点1】「個別最適な学びによる授業づくりの工夫」

① 単元内自由進度学習により、生徒一人一人が最適な方法で課題解決することができるように、学習する順番(「万葉・古今・新古今」「おくのほそ道」「論語」どれから学習するか)を工夫させたり、使用する教材を選択させたりする。

② ロイロノートの資料箱に学習を進める上で参考になる学習シートを準備し、生徒が必要な場面で確認できるようにする。また、学習シートを紙媒体でも準備し、生徒に選択させる。

(2) 【視点2】「協働的な学びによる授業づくりの工夫」

① 単元の目標を達成するため、各時間の始めに進度を共有させ、生徒自身がペアやグループなど学習形態を自由に選択し、考えを深められるようにする。また、学習が思うように進まない生徒には、同じ内容の学習をしている生徒を紹介し、意図的に学び合いの場を設定する。

② タブレットを使って共有し、他の生徒の成果物をいつでも見られる状態にすることで、他の考えを取り入れられるようにする。

4 単元を貫く問い

和歌や漢文などの古典作品は、なぜ現代まで読み継がれているのだろうか。

5 単元計画 10月14日(全12時間中 5時間目)・10月23日(全12時間中 7時間)

時間	題材名及び目標		主な学習活動	構想図との関連
1 (一斉)	・「単元を貫く問い」を知り、学習計画を立てる。		<ul style="list-style-type: none"> ・和歌が基になった作品や現代にも通ずる古典作品の考え方や価値観を知る。 ・単元の学習計画をGoogleスプレッドシートに立て、見通しを持つ。 	A—①
2 1 (単元内自由進度学習)	万葉・古今・新古今	<ul style="list-style-type: none"> ・和歌の基礎知識の確認 ・和歌が詠まれていた時代の歴史的背景の確認(仮名序) 	<ul style="list-style-type: none"> ・和歌についての基礎知識(技法)を学ぶ。 ・古今和歌集の「仮名序」を読み、当時の人々の和歌への思いを学ぶ。 	A—②
		・和歌(万葉集)の解釈をする。	・和歌の音読をする。	A—③
		・和歌(古今和歌集)の解釈をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・和歌の意味や使われている技法に注意して、和歌の解釈や詠んだ作者の心情についてまとめる。 	A—⑥
		・和歌(新古今和歌集)の解釈をする。		B—①
	<ul style="list-style-type: none"> ・「万葉・古今・新古今」に描かれた現代に通ずる考え方や価値観についてまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「万葉・古今・新古今」に描かれた現代に通ずる考え方や価値観(自然や人間に対する愛情、四季の移ろいに対する感情等)をスライドにまとめる。 	B—② B—③ B—④	
おくのほそ道	<ul style="list-style-type: none"> ・「おくのほそ道」の冒頭を音読する。 ・「おくのほそ道」の冒頭を読み、作者の「旅」への思いを読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「おくのほそ道」の冒頭部分の音読をする。 ・解説文や冒頭部分、俳句から読み取れる、作者の「旅」への思いをまとめる。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・「平泉」を音読する。 ・平泉までの作者の旅程を確認し、「平泉」の章を読み、俳句に込められた思いについて考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作者の平泉までの旅程と、旅の途中で詠まれた句を確認する。 ・「平泉」の章を音読する。 ・「平泉」で詠まれた2つの俳句に詠まれた思いについてまとめる。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・「おくのほそ道」に描かれた現代に通ずる考え方や価値観についてまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「おくのほそ道」に描かれた現代に通ずる考え方や価値観(旅と人生について、無常観等)をスライドにまとめる。 		
論語	<ul style="list-style-type: none"> ・漢文の基礎知識の確認をする。 ・論語の概略をまとめる。 ・論語の音読をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・返り点等の漢文の基礎知識を確認する。 ・「論語」のあらましをつかむ。 ・全文を音読する。 		

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 論語を読み、解釈をまとめる。 ・ 論語に書かれた孔子の考えを読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「論語」から読み取ることができる孔子の考え方をまとめる。 ・ 「論語」の内容に当てはまる実体験を書き出す。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「論語」に描かれた現代に通ずる考え方や価値観についてまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「論語」に描かれた現代に通ずる考え方や価値観（人の道理、倫理観等）をスライドにまとめる。 	
1 2 (一斉)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元のまとめ ・ 「万葉・古今・新古今」、「おくのほそ道」「論語」の現代に通ずる考え方や価値観についてまとめたスライドを発表（共有）する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「万葉・古今・新古今」、「おくのほそ道」、「論語」の現代に通ずる考え方や価値観についてまとめたスライドをもとに、考えを発表し合う。 	